

まえがき

本報告書は、緑化生態研究室が平成 24 年度に行った調査・研究の概要ならびに、当研究室のスタッフが平成 24 年度に学会や雑誌などで発表した論文を収録したものです。

平成 24 年度に実施した調査・研究課題は、大きく以下の 5 テーマに分類されます。

- ① 地球温暖化対策に関する研究
- ② 環境影響評価の技術支援に関する研究
- ③ 外来生物等への的確な対応に関する研究
- ④ 景観の保全と再生に向けた技術支援に関する研究
- ⑤ 都市緑地の施工・管理の高度化に関する研究

「① 地球温暖化対策に関する研究」では、緑地や樹木の CO₂ 固定に関する研究、国営公園再生可能エネルギー活用実証事業を実施しました。

「② 環境影響評価の技術支援に関する研究」では、樹上性哺乳類や両生爬虫類の道路横断施設の開発に関する研究を実施しました。

「③ 外来生物等への的確な対応に関する研究」では、特定外来生物に指定されているオオキンケイギクの防除手法の確立に関する研究を実施しました。

「④ 景観の保全と再生に向けた技術支援に関する研究」では、美しいまちづくりに向けた公共事業の景観創出の効果分析に関する研究や、歴史的風致を考慮した災害時の復旧に関する研究等を実施しました。

「⑤ 都市緑地の施工・管理の高度化に関する研究」では、公園樹木や街路樹の健全度調査方法の検討等の樹木管理の高度化、外来種を用いないのり面緑化手法の開発等に関する研究を実施しました。

国総研では、平成 25 年 5 月 16 日より、分野横断的な「環境研究推進本部」（以下、本部という）の活動を開始しました。本部は、国総研が実施する全分野の環境研究について情報を共有するとともに、分野を超えた環境研究の取り組みを一層明瞭に打ち出すことを目的としています。

緑化生態研究室は、新たに道路研究部に所属するとともに、環境研究推進本部の一員となり、自然環境の保全・再生に関する多様な取り組み、美しい景観や都市緑地を確保するための取り組みなど、今後も環境研究に邁進する所存であります。

末尾ながらこれまでの関係の皆様のご指導、ご協力に感謝するとともに、緑化生態研究室に対する変わらぬご支援をお願いする次第です。

平成 25 年 12 月

国土交通省国土技術政策総合研究所
道路研究部 緑化生態研究室長
栗原 正夫